

平成26年度 地元説明会【要旨】

日 時 : 平成27年2月11日(祝・水)
場 所 : 多摩ニュータウン環境組合管理棟201・202会議室
出席者 : 會田事務局長、諸星施設課長、芳野総務課長(兼)出納課長、木下ごみ総合センター所長、内山環境資源部長、浦野環境部長、事務局8名、
参加者数 : 多摩市民 28人 町田市民 3人 計31人

1 説明内容

(1) ごみ処理区域再編検討状況について

①構成3市の連携強化について

- ・構成3市の清掃工場建替え時の相互支援
- ・既存施設、計画される施設の広域的な相互有効利用の促進

②相互協力について

- ・他市清掃工場の応援処理について今後も必要に応じて応援する。
- ・平成22年10月より、八王子市館清掃工場休止により、拡大区域として応援処理を行っている。平成34年予定の新館清掃工場稼働にあわせて現在の拡大区域の一部扱いについて見直し縮小案を構成3市との調整協議を行い地元の皆さまへ報告致します。
- ・平成32年の町田市新清掃工場稼働にあわせてごみ処理区域の検討を構成3市の間で進めていきまともりましたら地元の皆さまへご意見を頂きたいと思っております。なお、これらについては多摩清掃工場のごみ処理区域として正式な構成市議会への手続等を行うことで考えている。
- ・多摩清掃工場耐用年数は、目安として30~35年を考えている。

③町田市ごみ処理区域について

- ・町田市の拡大区域における搬入量は検討中である。
- ・町田市拡大区域の実施時期は、町田市新清掃工場稼働予定の平成32年を予定している。

④八王子市の拡大区域について

- ・現在の拡大区域については縮小する。
- ・拡大区域の変更時期は館清掃工場稼働予定の平成34年としている。

⑤多摩清掃工場への搬入実績について

(2) 不燃残渣の資源化について

①可燃、不燃における資源化の状況説明。(可燃100%、不燃97%)

②不燃残渣ができるまでの工程説明。不燃残渣以外資源化されている。

③3%の残渣は、埋立処理(二ツ塚処分場)され、利用できず維持管理費が半永久的に負担しなければならない。

④不燃ごみ搬入量と不燃残渣搬出量の推移を説明して、減少していることを説明する。

⑤ごみの資源化への動向を説明する。

- ⑥可燃ごみにおける資源化について説明する。
- ⑦不燃ごみにおける資源化について説明、及び不燃残渣の組成について説明する。
- ⑧不燃残渣を焼却することに対する安全性について説明する。
 - ・発生抑制について説明する。
850°C以上での焼却処理。
 - ・再合成防止
公害防止設備の最適温度域（200°C）まで、減温塔での急速冷却。
 - ・除去、分解
ろ過式集じん機での除去、触媒での分解。
- ⑨国等に定める法令基準よりも厳しい自主規制値を設けており、その規制値より大幅に低い値であることを説明する。
- ⑩不燃残渣を埋立から資源化するメリットを説明する。

2 質疑応答

質問1 旧清掃工場から今の清掃工場に建替え時は、他市にどのようなお世話になっていたのか。

また、お互いさまとは言うものの、無償というのはおかしいと思うので、その時のコストと、現在多摩清掃工場が応援しているコストはお互いさまの範疇となっているのかを教えてください。

回答1 現在の清掃工場の建設にあたっては、旧清掃工場を並行稼働しており他市などへの応援は受けてない。また、ごみ処理応援では処理費用を負担している。例えば、調布市の応援では、年間2万3千トンをお互いさまの範疇としており調布市は約10億円負担している。

現在の施設を建設した時の起債などをも含めたものであり、八王子市の拡大区域についても同様である。

質問2 残渣の話で、公害関係が国の基準に比べはるかに低いことはわかったが、世の中の一般的なレベルと比べどうなのか。例えば、唐木田の駅前で測って見たらこんなもんですみたいなことを教え欲しい。

回答2 現在、清掃工場周辺のダイオキシン類の測定は①からきだの道②中坂公園③小山田緑地④別所公園の4か所を測っているが、稼働時と定常時は一緒である。数値的にも、0.014 ^{ピコグラム} p g という非常に低い値である。（p g : 1×10^{-12} を説明。）

質問3 まったく、関係ない桜ヶ丘とか関戸辺りと比べることはないのか。

回答3 ありません。4か所だけです。

大気シミュレーションをもとに、排ガスの最大到達地点として東西南北を位置選定して測っています。それを冬と夏の一週間行いました。他の比較として、東京都の調査で、平成25年度の都内のダイオキシン類の排出量の推計及び環境中のダイオキシン類の調査結果では、「大気へのダイオキシン類の大幅な減少に伴い、ダイオキシン類濃度は大幅に減少し、近年緩やかな減少をしています。平成25年度の都内平均値は、 0.024 pg ^{ピコグラム}で環境基準値 0.6 pg ^{ピコグラム}の25分の1となっている。

この周辺は、 0.014 とか 0.015 pg ^{ピコグラム}ですから、その半分であるので環境基準値の50分の1となる。

質問4 町田市、八王子市の拡大で、搬入量などは検討中で新工場ができた時にまた変更するとあるが、新しい清掃工場の処理量の前提となる収集区域、これは当然この多摩ニュータウン環境組合の収集区域以外は全部入るんですよね。そう考えてよろしいですか。

回答4 多摩清掃工場の処理区域は多摩市全域、八王子市と町田市のニュータウン区域です。現在は、平成22年10月から八王子市拡大区域として1万2千トン受入れています。これが処理している区域になります。八王子市の拡大区域については、平成34年に新館清掃工場ができると、縮小する方向で考えています。
新館清掃工場の施設規模は基本計画により規模、能力が決まるので、今は申し上げることができません。

質問5 その規模を決める前提となっているのが、多摩ニュータウン環境組合が処理すべき区域、それ以外は無いですね。拡大区域というのは、現在修理（建替）するためにその期間しているわけですよね。ここで処理する区域以外のものの量というものを前提に八王子市、町田市は新しい工場を想定していくのではないか。

回答5 八王子市拡大区域は、縮小を前提です。
拡大受入時は、相互支援と多摩清掃工場の安定稼働というのがあり、安定稼働は構成市の区域だけで6万トンです。拡大区域が抜けると4万8千から9千になります。そうすると、3分の2の240日しか清掃工場が稼働できない。120日は止まってしまうと還元施設の温水プールや総合福祉センターへ熱水の供給ができなくなります。また清掃工場は炉を燃やしたり止めたり頻繁に繰り返すと劣化が激しくなります。そのようなことで、拡大区域を前提のもとで受入れてきた事をもとに見直しを考えていくといくことです。

多摩清掃工場を建替えるときは、町田市と八王子市の本来のニュータウン区域以外の場所も想定した建替えをされるのかということですか。

質問6 そうではない。八王子市、町田市が新しい工場を計画している、その計画に対し

て処理量を算出すると思うが前提となる区域はどこなのか。

多摩ニュータウン環境組合本来の区域外は、八王子市、町田市は区域の量として想定しているのではないのか。

回答6 八王子市は、市内のごみ処理区域の中で行う方法と拡大区域を一部残していく方法についてはこれから行っていく。

質問7 拡大区域というのはいつ決められたのか。

回答7 平成19年度策定のビジョン2012から、安定稼働の観点から平成22年の館清掃工場休止に伴い、1万2千トンの受入れを開始した。

質問8 ごみ量の減少は、市民の努力によるもの。それを関係ない地域からごみをもたらるのは本末転倒ではないか。平成45年までのメンテナンス費用等考えると、規模を縮小して建替える費用というのを検討することも必要ではないか。これだけの規模のメンテナンスも莫大な費用になると思います。それを含めて、なぜそもそも関係のない地域を受け入れないといけないのかについても検討してもらいたい。

回答8 ①ダストボックス廃止②プラスチック資源化、有料化等ごみ減量が進んだことにより、相互支援を含めて受入れしてきた。コスト面は、建設する目安としては5千万（1トン当たり）と言われてきたが、近年は7千万円（1トン当たり）とも言われ、仮に現在の半分の200トンとしても、100億から140億かかる。そのためメンテナンスに工夫をして長く使っていく方向で考えますが、維持管理費と建替え時期等については今後検討してまいります。

質問9 拡大は恒久的な話ということだが、町田市、八王子市として多摩清掃工場の位置づけはどのように考えているのか。

回答9 多摩市は清掃工場、町田市は斎場、八王子市は墓苑、稲城市は下水処理施設として多摩ニュータウンで役割を分担していく中で運営している。多摩清掃工場は、八王子市、町田市、多摩市の3者で共同経営している。

(八王子市)

規約内でニュータウンエリアについてお願いしている。現在は、臨時で地域の方のご協力で拡大エリアをお願いしている。ニュータウンエリアのさらに周辺となるとと思いますが、拡大区域の中で圧縮した中でお願いしたいと考えている。

まずは、戸吹清掃工場、館清掃工場の八王子市内のごみ量を検討したうえで施設規模を決めた中でお願いできる範囲を改めて説明会などでお話しさせて頂きたい。

(町田市)

共同経営という立場で考えている。町田市は建替えにともなう応援は同敷地内に建替え可能であるので必要ない。

質問 10 ニュータウン以外の地域を持込むのは、受入れられない。1 炉だけ使用する範囲でごみを受入れることでよいのではないか。八王子市は、3 つも清掃工場があるのだから、そっちを大きくすれば良いのではないか。

放射線量について、排出が高いのではないか。なので燃やす量は減らしてもらいたい。

残渣 3 % を減らすコストはどれくらいか。しなかった場合は維持管理費はどのくらいなのか。

回答 10 1 炉運転を行うことは確保していきたいと考えている。

多摩清掃工場からは、放射能は出ていない。毎週清掃工場周辺で 4 か所放射能測定をしている。残渣の焼却コストは、可燃ごみ処理費用として約 2 万円（1 トン当たり）であるが、埋立の場合は約 7 万円かかっている。

質問 11 3 % 減らす場合も燃料費とかかるのではないか。

回答 11 可燃ごみと同時に焼却するので変わらない。

質問 12 八王子市の応援についても、敷地内での並行稼働により多摩清掃工場への応援をせずに行えなかったのか。

回答 12 館清掃工場の老朽化による休止のため多摩清掃工場での応援とした。

質問 13 現在、我々が世話をしているのであれば将来多摩清掃工場建替え時には、八王子市で面倒を見てもらうことにしなければいけないのではないか。将来的な建替えの時には、八王子市は多摩の応援を行うことは是非」お願いしたい。

回答 13 相互協力の中で、八王子市の余力の中で対応していく。

質問 14 工場周辺の歩道についてきれいに保ってほしい（落ち葉など）

回答 14 各所管に善処するよう申しつたえます。

質問 15 なにかというと、ここの安定稼働というが八王子市と町田市がある程度の余力ある施設に建替えるとすると、多摩清掃工場に持ってくる安定稼働するためのごみは持ってこれないのではないか。仮に、八王子市に余力がないものができた場合、相互協力もできないのではないか。

回答 15 ある一定のごみを確保していかなければならないので構成 3 市で協議していく。

質問 16 そもそも範囲を広げるというのが、おかしな話ではないかと言っている。建てるものが余剰を残さなければいけないのに、その分をこっちに持ってくるのは余剰が残せないのではないか。全部が安定してできるのであれば、多摩清掃工場を廃止しても構わないのではないか。

回答 16 現在、余力があるので応援していますが、多摩清掃工場が建替えの時には助けてもらうことも大切だと考えている。

質問 17 町田市、八王子市の処理区域は具体化した段階で説明があると書いてあるが、具体化とはどのような時期か。

回答 17 現在、時期の結論はでていない。

質問 18 八王子市、町田市もこれから検討するということか。ならば検討の前提で区域は変えないということで良いのか。

回答 18 八王子市の拡大区域は、縮小する方向です。

質問 19 八王子市の拡大区域は、館清掃工場建替えのための期間であり、そういう約束だったのではないか。

回答 19 平成 22 年度の説明会では、長期的なことで考えていますと説明している。

質問 20 区域を拡大するかどうか話だが、そういうことで構成市と話しているようだが、例えば早めに建替えるとか、いかに長持ちさせてコストを下げるとか、そちらの方に力を注ぐべきであり、区域拡大を前提に地域に説明するのは話が逆のような気がするが。それよりも現状で焼却炉をどうするべきかということの説明すべきと思うが。

回答 20 拡大区域がなければ年間 3 分の 2 の稼働しかできない状況である。その中で、地元の皆さんと協議させてもらいたいと考える。

質問 21 ここの焼却炉の建替えも考えないといけない。まだ 17 年というが、もう 17 年たっているということ。あと数年で考えないといけない。それを早めるかを検討すればいい事で、炉を安定稼働させてそこに費用をかけて、他市からごみを受入れるということよりも、建替えるということをも前提に考えた方が話が早いのではないか。

回答 21 一度建てた炉は、30 年から 35 年は稼働することで考えている。

質問 22 その必要性は。

回答 22 建替えには、過大なコストがかかる。メンテナンスコストから建替えに関する時期などコスト面から今後検討していく

質問 23 八王子市の中核市移行により、日常的に清掃問題で変わることはあるのか。

回答 23 ごみ処理関係については、一般ごみに関しては変更ない。産業廃棄物関連の事務権限が東京都から委譲されることが主なもの。

質問 24 早期に身の丈にあったものに直していく、それは仕方ないことではないか。コストがかかってくるが、それは多摩市の方が単独で決めたものではなくて、みんなが選出した議員と議会などの話を通して決まっていく話である。たとえれば、その責任はみんなで負う。それを、他市から穴埋めをもって来るだとか、車両も多くなるし、地元にとっては気持ちよい話ではない。やはりみんなで決めたものの失政というかデメリットを地元だけが受けるのはおかしい。エリアを変えずに身の丈にあったものに建替えて理想的な運営にした方が良いのではないか。

質問 25 ごみ処理は非常に大事な問題で、多摩市、八王子市、町田市がどうだとか。市外から持ってくるはどうだとか、道路隔てたら隣の市なんですよ。そういうところが遠いところにもって行くとか、そうしたら全体として環境にやさしくない。そうした面から、炉の大きさとかこれから検討してもらわないといけないけれども、多摩地域全体をみて3つの市でそういったことを考えていく方が良いと思う。ごみ処理工場は、どうしてもいる訳だから協力関係がないといけないと思う。そういった面でコストをかけないでいくにはどうしたら良いかを考えてもらいたいと思う。

質問 26 安定稼働と事業の関係だと思うが、事業として成立つかの採算分岐点は、計算されているのか。温水がいかないとか説明があったが、抽象的な話で経費等の具体的な計算されているものがあるって支出の面でどのようになっているのかを明示されているか聞きたい。

回答 26 運転に係るコストと維持に係るコストがありますが、燃やす量が増えればコストが下がっていくこととなる。それが、見込めない中では、構成市のごみ搬入量と処理人口に応じて構成市が負担をする。

質問 27 次回の説明会では、それを出したらどうか。今、抽象的な話だけを聞いているだけで、企業というのは予算と支出がありますから、それを見たいんですよ。余分なものは我々からみて何か検討もできない中でただ安定稼働したいという話しかないので、是非だしてもらいたい。

回答 27 コストについて、修繕費等見直し、発電の効率化運転などを多くの発電ができる

ように計画しています。

質問 28 そういう抽象的な話でなくて、

回答 28 具体的数値を示すことはできないが、1 炉運転となっている状況でコストを下げることを検討していく。資料を次回は、出せるように検討していく。

質問 29 気分的なもので、なんか我慢しろと強いられているようで、皆さんもそう思っているのではないか。区域以外のもの、当初の約束とは違ったものを受入れていかなければいけないと非常に抽象的な話になってしまっているのではないか。感情的な。ですからもっと明細を出して堂々と主張したらどうなのか。検討の部分で数値的なところが全然わからないので説得性が無いと思う。出されて皆さんに示したらどうですか。

回答 29 今後の参考にしていきます。

不燃残渣の焼却については、来年度 4 月 1 日より実施していきたいと思いますが皆さんよろしいでしょうか。

質問 30 逆になぜ今まで行ってこなかったのか。

回答 30 プラスチックの分別等安全性の確保ができるようになったことや、搬入量の減少して、工場内での分別作業が丁寧に行えるようになったのが理由です。

参加者（住民） 異議はない。